

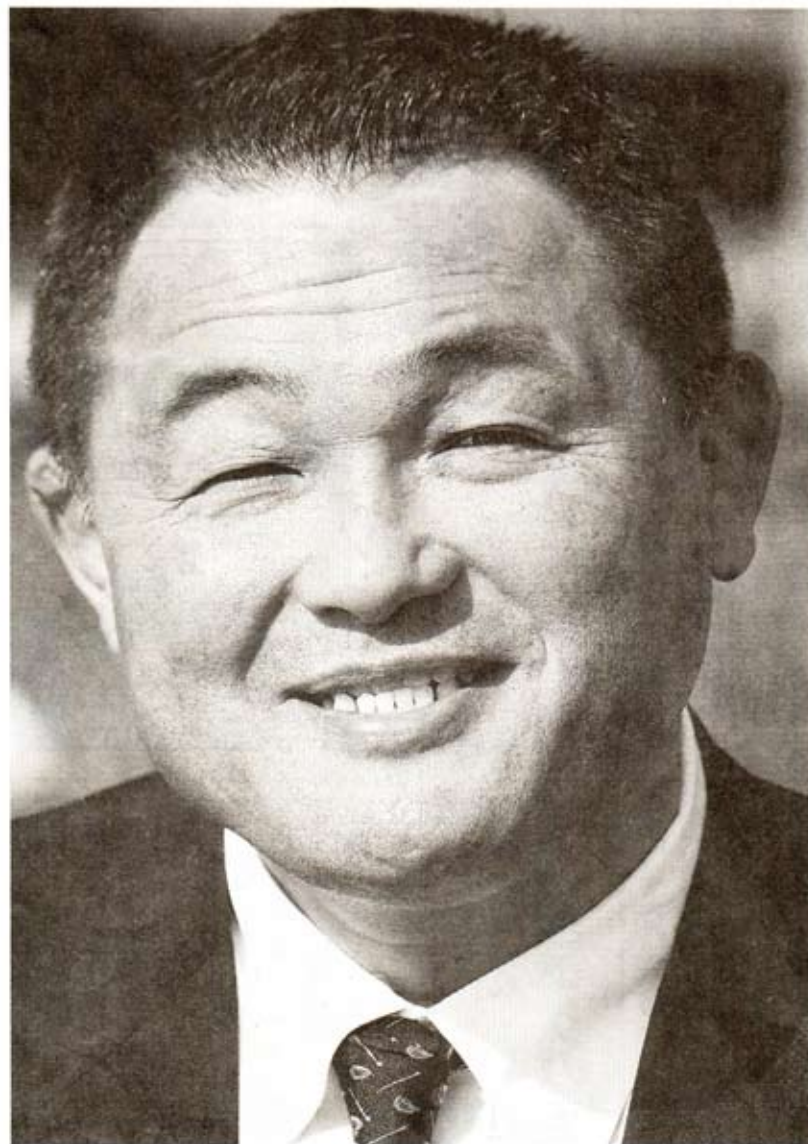
よしおか・こうじ 日本写真協会会員。山鹿市出身。92年、写真集「光の記憶・筑豊」で同協会新人賞。日本の霊山を撮った「山界曼陀羅」、作家村上護さんとの共著「山頭火を歩く」など。昨年、熊本市に事務所を開設。55歳。

吉岡功治が撮る

くまもと人の

顔

101



政治、経済、文化、スポーツ…。あらゆる分野の中樞を担う首都・東京。古里を離れ、日本の顔として活躍する県出身者に、写真家吉岡功治さんがカメラを向けた。

東海大学教授

山下 泰裕さん

「全力で今を生きる。世界の山下はポジティブで純粋」 (吉岡)

不滅の203連勝、涙のロス五輪金メダル、国民栄誉賞…。日本中が無敵の柔道に酔いしれた。「恩師をはじめ多くの人に支えられたからこそ、中学生からの夢が実現できた。幸せだった」。受け答えに謙虚な人柄がにじむ。

引退から20年。次世代の人材育成に力を注いできた。「どんな失敗もあきらめず、目標に向かって仲間と力を合わせる。挫折は人を成長させる」。自らも冷戦下のモスクワ五輪不参加、選手生命を脅かす骨折を経験。機会あるごとに「過程の大切さ」を伝える。

3年前から国際柔道連盟理事。世界中を飛び回るたびに、日本に対する理解不足や関心の低さを痛感する。「柔道を通して、日本人の心や文化をもっと広めないと」。熊本の大自然にはぐくまれたという巨体を揺らし、「人生これからが本番」と目を輝かせた。(渡辺哲也)

やました・やすひろ 上益城郡山都町(旧矢部町)出身、神奈川県在住。49歳。

ポジティブで純粋